

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	文化財保護事業		コード	担当課係	生涯学習課文化係
			03-03-02-01	担当者	福本浩子
事業実施期間	平成7年～		電話	0869-64-1841	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	歴史と文化の輝くまちづくり			
	小項目	文化財の保存と活用			
	施策	文化財の保護			

事業について	
目的	中世六古窯のひとつと言われながら、調査・研究が20年遅れていると言われている備前焼研究の現状の中、備前焼の歴史について未解明なことを明らかにする。また、文化財を保護し、かつ、その活用を図り、もって市民の文化向上に資することを目的とする。
対象（誰のために）	市内外を問わず、史跡及び備前焼の歴史・文化財に興味のある人。
内容	伊部南大窯跡の発掘調査、出土した遺物の整理、現地説明会の開催。 国指定史跡の整備を検討する史跡伊部南大窯跡整備委員会の開催。 指定文化財の見直し。 市内文化財の保護保存、また、周知のため説明板や注意看板等を設置。 資料館等との連携による備前歴史講座・フォーラムの開催。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
備前歴史フォーラム延参加者数	173 人			
遺物整理日数	240 日			
文化財保護審議会開催回数	3 回			
現地説明会参加者数	150 人			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,094	国庫補助金等	4,484	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	12,135	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	26,229	市債		合計	0	市債	
		一般財源等	21,745	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	1.75	人		人
結果指標名	備前歴史フォーラム延参加者数			
結果指標量	173			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	685,820	円		円
単位当たりコスト①	3,965	円		円

結果指標名	現地説明会参加者数			
結果指標量	150			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	備前歴史フォーラム延参加者数	式又は説明	備前歴史フォーラム延参加者数
	17年度		
成果指標量	173		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	200	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：文化財保護法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	市内の文化財の保護・保存について関心をもってもらうため、現地説明会や備前市歴史民俗資料館と共催でフォーラムを開催するなど文化財に関する情報発信ができた。今後も市民の意見や参加者の意見を取り入れながら、内容をより充実させていくことが必要である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	175名	結果指標量②	160名
目標値	結果指標量	175名	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	17年度とは違う角度からも焦点をあて、フォーラムを開催する。	H18年度	様々な内容を取り入れることで、文化財について関心を持ってもらえる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識  
備前市には備前焼や数多くの文化財が存在しており、これらの文化財を調査し、保存・保護していくことは、非常に重要である。  
郷土の文化・歴史について多くの人に興味を持ってもらい、文化財の保護・保存等に関して理解を深めてもらう必要がある。  
遺跡や文化財を保存・整備していくためにはコストがかかってしまうが、調査や資料作成作業などの効率を向上するように努めていかなければならない。  
備前市内にある文化財について、興味・関心を持ってもらうための情報発信をしていくことが重要。現在行っているフォーラムや現地説明会等の学習の場をより充実させ提供していく。